



シーカース



シーカース



会員総会

### 名古屋YMCA 活動紹介

### シーカース

6月は今年度初のお泊り例会でした。滋賀県の琵琶湖にカヤックを体験しに行きました。

今回は2日目にカヤックツアーを行うべく、1日目はツアーに向けたカヤックの練習を行いました。自分の命を守るライフジャケットの着用法からパドルの持ち方、こぎ方など基本的なことをまずは陸で学び練習しました。イメージをつけたらいよいよカヤックに乗って練習です・・・が、風が強く波も高く子ども達の力だけではなかなか岸から出ることができません。「やっと出たぁ」と安心してると今度は大波でうまくパドルがこげなくて風に流されたり悪戦苦闘するペアが続出でした。それでも少しずつコツをつかんでいき、2人で力を合わせてパドルをこいで進む練習や曲がる練習をしたり中にはバックの練習をするペアもいました。「波が大きすぎて思うようにこげなかった」、「風があつて行きたいところに行くのが難しかった」など、みんな自然の力のすごさを少しは体感したようです。練習環境には恵まれなかったもののカヤックを楽しむことができ子ども達は大満足でした。

さあ2日目はいよいよカヤックツアーだ!!と意気込みたいところですが、みんなの気持ちとは裏腹に天気の方は雨・・・それでも昨日とは打って変わって波風は全くなくとても穏やかな湖でした。急いでテントやタープを解体し、朝食を済ませ出発の準備をしました。準備が整いよいよツアー出発と行きたいところですが、昨日の悪天候によりチン(転覆)したときの対処法を練習できなかったのでもまずはチンの練習をしました。みんな怖がりながらも落ち着いて対処することができました。練習が終わればやっとツアー出発です。片道約2.5kmの行程を休憩をはさみながらゆっくり行きました。みんな水の中を覗き込んで魚を探したり水草を投げて遊んだりとても楽しくツアーを行うことができました。今回は天候には恵まれない例会になりましたが、天候が悪いからこそ早く準備や片付けをしないといけないことなどからみんなが協力してプログラムを行うことができました。子ども達もカヤックにはたくさん乗ることができとても大満足の2日間となりました。

(つづめんリーダー：川村公一)

### 名古屋YMCA 早天祈祷会

YMCAでは毎月1回、奨励を聞き、心やすらかにして祈る時を持っています。どなたでも、お越し下さい。(8月はお休みです)

#### 9月予定

日時：9月1日(火) 午前7:45~8:30  
会場：名古屋YMCA(東区代官町)  
奨励：石田 聖実 先生(尾陽教会)

### お問い合わせ：名古屋YMCA ボランティアセンター

### ワイズコーナー

クラブ名 開催日時	テーマ・講師など	会場
名古屋 7月14日(火)18:30	総会	名古屋YMCA
名古屋東海 7月4日(土)・5日(日)	一泊例会	あかまんま(根の上)
名古屋南山 7月9日(木)19:00	第一例会	南山YMCA
名古屋プラザ 7月9日(木)19:00	第一例会	名古屋YMCA
名古屋グランパス 7月4日(土)・5日(日)	一泊例会	犬山国際ユースホテル

### 永年継続会員感謝

さる5月29日(金)に定期会員総会を行い、YMCAからの報告と交わりの時を持ちました。以下のみなさまが、永年継続会員として表彰されました

- 10年会員 赤坂雅子、浅野美也子、小澤順子、小島 章、小林純子、桜山友子、塩田保、篠田潔、中野美幸、橋爪圭子、松原誠、山口幸子、山本茂樹
- 20年会員 阿部一雄、近藤 豊、山本伸彦
- 30年会員 小澤昭之、坂本清則、辻本昌孝
- 40年会員 鈴木康弘、高橋榮一、山本和子、山本 徹
- 50年会員 伊左治正文、永田貞雄
- 60年会員 笠井康助、木本精之助、脇田茂男

(敬称略)

### 発達障がい支援事業リーダー研修会

—問題の種類も多種多様でした—



熊本での発達障がい支援事業リーダー研修会に参加しました。研修会一日目は二部構成で、一部では発達障がいとはなにか?一口に発達障がいと言っても種類や特徴はさまざま、それぞれの子どもの抱える問題の種類も多種多様でした。そして、その子ども達とのかかわりかたや現在YMCAがどんな取り組みをしているかを学びました。

二部には北海道から向谷地生良さんを講師に迎えて「べてるの家」から現場の生の声を僕たちに聞かせてくれました。そこでは当事者研究という言葉ができて、障がいに苦しむ当事者本人が自分の行動に対する何故?を探し当て更には対策まで考えるというものでした。この当事者研究はとても興味深いものだと感じました。

二日目には実例を交えてどういったプログラムを行ったら子どもに伝えたいことが伝わるのかをグループになって考え子どもに否定的な表現は使わない、子どもに自信がつくようなプログラム作りが大切なんだと思いました。この二日間を通して僕の知らなかった発達障がいを知ることができました。また、同じ熊本に集まった仲間と考えることも大きな刺激となりました。

(パーシーリーダー：大橋雅典)

### なんざん わい! Yプログラム

魚を手で持つことができました!

6月13日、南山特別プログラムの魚つかみが新城市、山びこの丘で行われました。山びこの丘の川の水はまだ冷たさが残る自然の川です。魚つかみが始まると、冷たいことはすっかり忘れてニジマスを追いかけることにみんな熱中です!自然の川で泳いでいるニジマスは、



見つけるのも大変!つかむことも大変!でも、だんだんコツをつかんだお友だちは、上手に捕まえて、にこにこの笑顔で見せてくれました。はじめは魚がこわかったお友だちも、魚を自分の手で持つことができました。魚つかみが終わると、川遊びの始まりです!川ではカニや小さな魚、トンボを見つけたお友だちや水を思いっきり頭からかぶって川遊びを満喫したりと、思い思いの時間をみんな過ごしていました。みんなが捕まえた魚は塩焼きにしておいしくいただきました。お魚をつかんだ感想は、



「ヌルヌルしてる〜!」「つるつるしてた!」という子や「ちょっと気持ち悪かった」という子、それぞれに感じたものがあつたようです。次の特プロは冬になってしまっていますが、冬の遊びを思い切り楽しみましょう。

(キョメリリーダー：遠藤恵美子)



# 名古屋青年

# 7.8

2009 No.647

## NAGOYA YMCA NEWS

昭和27年5月13日 第三種郵便物認可  
毎月1日(月刊) 定価1部60円  
(購読料はYMCA会費に含まれています)

●発行所 名古屋キリスト教青年会 〒461-0002 名古屋市東区代官町35番16号 ☎052-932-3366 ●発行人 加藤明宏 ●編集人 徳田 望

### 年間聖句

「隣人を自分のように愛しなさい」

(マルコによる福音書 第12章31節)

### 2009年度新常議員紹介 (アイウエオ順)

以下の方々が会員総会で、名古屋YMCAの新常議員として選出されました。



小澤 幸男氏  
常議員  
名古屋プラザワイズメンズクラブ



下村 徹嗣氏  
理事・常議員  
日本基督教団津示路教会



寺田 仁計氏  
副理事長・常議員  
名古屋ワイズメンズクラブ  
日本基督教団名古屋新生教会



深尾 聡氏  
理事・常議員  
名古屋ワイズメンズクラブ  
日本聖公会聖マルコ教会



松原 誠氏  
常議員  
名古屋グランパスワイズメンズクラブ

(理事会選出)



三〇 大登氏  
常議員  
日本基督教団熱田教会

※橋爪良和氏から川本龍資氏に、常議員会議長が交代されました。

#### 日和田高原キャンプ場

#### ワーク&バーベキュープログラム

- 日程：2009年7月19日(日)～20日(祝・月)
- 場所：名古屋YMCA 日和田高原キャンプ場(現地集合・解散)
- 参加費：1,500円 \*詳細はYMCAまでお問い合わせください。

#### 維持会員

2009年5月16日～6月15日

維持会員としてのお支えを心より感謝申し上げます。

#### 代官町〔新人〕

奥田 浩子 柴田 信義

#### 代官町〔継続〕

秋重 泉	磯部 裕幸	磯部真知子	仲村ゆかり
岩田 満治	遠藤恵美子	岩野 一郎	伊藤 暢浩
大原 茂幹	柴田 勝義	小澤 幸男	高田 廣
仙敷 公司	後藤 猛	三〇 妙子	(敬称略)

## 夏休みを前にして思う

— 青春はYMCAなしでは語れない —



常議員会議長 川本 龍資

今年も夏休みがやってくる。子ども達には今の時期は、「何をしようか?」「何処へ行こうか?」と計画を練りながらの楽しい時期であろう。小学生時代からYMCAを遊び場としていた私にとって、夏休みの第一の楽しみは「Yキャンプ」であった。小学校4年生で初めて「根の上キャンプ」に参加して以来、思春期、青年前半の夏を「根の上」で過ごさせて頂いた。その理由はなんと言ってもプログラムの一つ一つが新しく、おもしろかったの一言に尽きる。今でこそキャンプグッズやアウトドアグッズが量販店の店頭に並んだり、オートキャンプ場など施設面においても「キャンプという娯楽」が世の中に認知されている時代であるが、キャンプという言葉自体がポピュラーでは無かった時代から、「青少年の成長を育む」目的で展開してきたYMCAのキャンププログラムの「先見性」をここに見る事ができる。現在もその目的に沿って「本来のキャンプ」が計画立案され、その独創性を継承しているのが「YMCAキャンプ」の特徴だと思う。今年も名古屋YMCAでは「日和田キャンプ場」

を中心にYキャンプが計画されている。もし、キャンプ参加希望のお子様がいらっしゃれば、是非「Yキャンプ」をお勧めする。キャンプに続く思い出としては、「YMCA国際交流プログラム」である。私自身高校2年の1972年の夏休み40日間「ロサンゼルス」名古屋YMCA交換学生プログラム」の米国滞在を経験した。4家族のホストファミリーによる生活体験とロスメンバーとのキャンプ(ヨセミテ国立公園)が主な内容であったが、今でも我が青春の忘れがたき思い出である。ロスYMCAとの交換プログラムであるため、1971年と1973年にはロスメンバーが名古屋YMCAを訪問している。ホストファミリーも2回経験させていただいた。今年の夏も名古屋YMCAの国際交流プログラムとして、3年前から再開した「ソウル」名古屋YMCA交流プログラム」として、韓国ユースを受け入れる形で展開される。プログラムの一部に参加させていたかどうかと思っている。以上、自身の青春(少年)時代の夏休みを振り返って見た時、改めて「私の青春はYMCAなしで語れない」事に気付かされる

る。私としては、社会に出て名古屋を離れた時点でYMCAを卒業したと思っていた。特に、私自身人生最大のターニングポイントである、「キリスト者」に回心させていたから、YMCAとの関わりを見出せないでいた。しかし7年前、YMCAへの再度の関わり要請に応じ、暫くした時「私がクリスチャンになった背景にはYMCA主事の皆様やYMCAに連なる方々の長年の熱い祈りがあった」ということに気付かされた。自分で勝手に卒業したと思っていただけだった。YMCAに育ててもらい、祈りの対象であった自分が救われたことよりつながっているという神様のご計画の大きさに只々感謝している。「YMCA基本原則」「YMCAの願い」が日々のプログラムで実践され、世の中の二に思えていく事が出来るように、この時代の弱者に手を差し向ける事ができるように、YMCAに集う子ども達・YMCAに関わる全ての方々が、やがてイエス様の救いにあずかるように、かつてYMCAに集ったメンバーが再集結し、この良き業の同労者となる方が起こされるよう、祈るものである。

名古屋YMCA  
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」